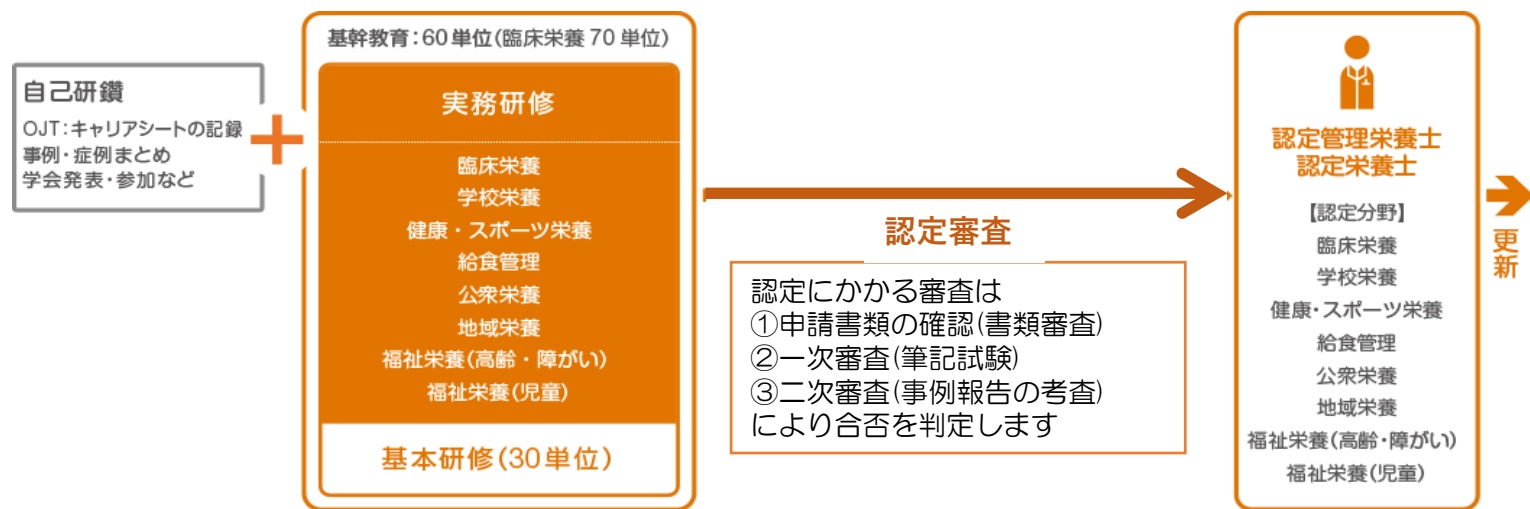


栄養介入に自信が持てる！ 実践できる管理栄養士・栄養士を目指せ

第10回(2025年度) 認定管理栄養士・認定栄養士にチャレンジ！

認定管理栄養士、認定栄養士制度とは？

臨床栄養、学校栄養、健康・スポーツ栄養、給食管理、公衆栄養、地域栄養、福祉（高齢・障がい・児童）栄養の各分野において、管理栄養士、栄養士が行う栄養介入スキルを実践レベルと認める制度です。自己研鑽をし、所定の単位や実績があれば認定試験を受験することができます。



≪ 認定取得までの流れ ≫ ※第10回(2025年度)認定管理栄養士・認定栄養士の認定にかかる審査の実施要項より

2025年	1月	実施要項確認・ 申請準備
	4月7日(月)～ 4月21日(月)	書類提出(オンライン申請) 審査料振り込み
	5月予定	書類審査の結果受理
	6月29日(日)	一次審査(オンライン試験)
	7月下旬予定	一次審査可否結果受理
	8月～12月	二次審査(事例報告の考査)
2026年	1月下旬予定	二次審査可否結果受理
	2月下旬	認定登録手続き
	4月1日～	認定証交付



「事例難しい…」
「書き方がわからない」

福岡県栄養士会では、事例の書き方サポートを行っています!!

生涯教育に積極的に参加されている会員の皆様、まずは取得単位数を確認してみましょう！あと少しで規定の単位数をクリアできる方、ぜひ認定管理栄養士・認定栄養士取得についてご検討ください。

対象者の課題や問題点を明確にした介入報告や栄養指導記録に自信が持てるようになります。

◎第8回(2023年度)の申請分より「審査申請方法」及び「申請要件(一部)」変更・改定になっております。

■※次ページをご覧ください

※認定管理栄養士・認定栄養士認定審査申請について

【審査申請方法】

日本栄養士会ホームページより[オンライン申請](#)

【申請要件】

①実務研修単位その他団体振替単位の上限について

他団体の研修会は15単位（臨床栄養分野は20単位）を上限

②実務経験の単位振替等について

以下の要件を認定申請時に適用する。

基幹教育及び自己研鑽における60単位（臨床栄養70単位）以上の単位を取得していること。

・基幹教育（基本研修、実務研修）：30単位以上

※実務研修のうち、他団体の研修会は15単位（臨床栄養分野は20単位）を上限とする

・自己研鑽による単位：20単位以上（うち、学会参加3回以上、臨床栄養分野5回以上）

<自己研鑽による単位の換算方法>

・学会参加（参加証の原本）：2単位

・学会／研究会での発表（抄録コピー）：発表者10単位、連名2単位

※ポスター発表・全国栄養士大会での示説発表も可

・講演会・研修会の講師（プログラム・委嘱状のコピー）：1講演5単位

・大学での非常勤講師（本務者は除く）（シラバスのコピー）：1科目5単位

・シンポジスト・パネリスト・座長：5単位

・学術論文 ※査読付き（コピーの提出）：筆頭30単位、共著5単位

・実践報告 ※査読付き（コピーの提出）：筆頭15単位、共著2単位

・雑誌（コピーの提出）：筆頭10単位、共著2単位

・著書（コピーの提出）：筆頭20単位

・事例報告（各認定分野ごとの様式）：5単位

③キャリアシート様式・提出条件

新様式で5枚以上（目安1枚/年）の提出

⇒2022年度以前のキャリアシートについては、以前の提出条件（5枚/年目安）の適応になります。

尚、2022年度までと2023年度以降では、様式が異なりますので、ご注意ください。

キャリアシートの新様式は日本栄養士会HPよりダウンロードできます。

2023年度より、認定審査申請に関する要件が改定されています。

お間違いのないよう、ご確認ください。

詳細は、日本栄養士会HP又はこちらのQRコードから⇒⇒

